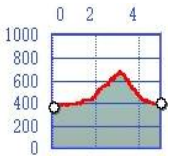
マイペース登山08:北摂　鴻応山

コース	西野バス停 →1.87km/33′ →寺田登山口→0.53km/23′ →ｐ551m→0.23km/7′ →牧登山道下分岐→0.53km/21′ →鴻応山→0.31km/9′ →牧登山道上分岐→0.64km/20′ →牧登山口→0.79km/11′ →牧バス停
水平距離	4.90km
累計高低差	登り348m、下り313m
標準歩行時間	2：03
実績歩行時間	2：34

断面図
縦軸：高度m
横軸：距離km



山行報告

山行日	2022・12・4（日）	天候　曇り	参加者　5名

行　動　阪急茨木駅9：48⇒西野バス停10：56～11：07→寺田登山口11：41～11：57→ｐ551m12：31～12：33→牧登山口下分岐12：40→鴻応山13：09～13：45（昼食）→牧登山口上分岐13：57～14：09→牧登山口14：38→牧バス停14：52～15：31⇒阪急池田駅16：15

記　録

鴻応山は大阪府豊能町と京都府亀岡市の境界にある678.7mの里山である。大阪府の分県登山ガイドでは次のように紹介されている。『その円錐状の美しい容姿で知られる北摂屈指の秀峰である。周囲は水田に囲まれており、郷愁を感じさせるのどかな風景が広がっている。ルートは南麓の集落から北の山頂へむけてのびる直登路を辿り、山頂から下る途中で西に道をとる。』
私たちは阪急茨木駅からバスで西野バス停まで行き、そこから田園地帯を北上して寺田集落にある鴻応山から派生する尾根の南端から登りはじめた。登り口が分からず最初の70mほどは藪漕ぎをして登って踏み跡を見つけた。道なりにすすむと551mのピークに着いた。さらに北上すると牧登山道の分岐があり道標もあった。国土地理院地図に示されてる牧登山口へ下る下の分岐である。ここから勾配30%を越える急登になると思っていたが、大きな木にテープがあり右へ進む巻き道に誘導された。笹原の斜面のトラバースはスリップしないように慎重に歩いた。やがて境界尾根に着き、なだらかな道を250m歩いて鴻応山山頂に着いた。眺望はないが広々とした静かな山頂で昼食をした。
下山は牧登山道上分岐から地理院地図の道を辿った。結論から言うとこの道は踏み跡がなく廃道になっていた。部分的には40%ほどの急斜面だがふかふかした地面でストックを使って下った。道がなだらかになった445m地点で牧登山道下分岐からの道と合流し、牧集落内の道を西へ進み国道423号線にある牧バス停に着いた。
40分ほど待って3：31分発の阪急池田駅行きの最終バスに乗った。
短距離だが適度な難コースで静かな里山歩きが楽しめるマイペース登山に適した山だった。